ISSN 0913-042X

財団法人 愛知県埋蔵文化財センター

年報

昭和
62年度

1988

序

財団法人愛知県埋蔵文化財センターは、昭和60年４月に設立され、間もなく３周年を迎えようとしています。本センターは、前身の愛知県教育サービスセンター埋蔵文化財調査部以来、主として、名古屋環状２号線の建設に伴う遺跡の事前発掘調査を実施してまいりました。国・県の公共事業の増大に伴い、調査面積は、年々拡大を続けております。

昨年12月１日には、愛知県埋蔵文化財調査センターが、海部郡弥富町に設立されました。それに合わせて、財団法人愛知県埋蔵文化財センターも同所内に移転し、新たな第１歩を踏みだしております。

本書の刊行及び発掘調査にあたり、専門委員の諸先生及び愛知県教育委員会の御指導並びに建設省、日本道路公団、愛知県土木部、地元市町村その他の関係者の方々の多大な御協力をいただきましたことに対し、厚く御礼申し上げます。

この年報が、考古学の研究はもとより、埋蔵文化財の保護と活用のうえでも、お役に立つことができればまことに幸いと存じます。

昭和63年３月

財団法人　愛知県埋蔵文化財センター

理事長　中　根　昭　二

例　言

1．本書は、財団法人愛知県埋蔵文化財センターの昭和62年度事業の概要をまとめたものである。

2．調査は、建設省中部地方建設局、日本道路公団名古屋建設局、日本鉄道建設公団名古屋局支社及び愛知県土木部から、愛知県教育委員会文化財課を通じての委託を受けて、本センターが実施した。

3．調査の概要は、各遺跡ごとにまとめて掲載した。

4．普及活動の概要は、本センターの事業のうち、研修会、埋蔵文化財展など埋蔵文化財の発掘調査以外の事業についてその概要を掲載した。

5．調査研究は、発掘調査及び整理作業を通じての研究成果の一部を集録した。

6．発掘調査にあたっては、専門委員の各氏及び愛知県教育委員会文化財課、愛知県埋蔵文化財調査センターの指導助言をいただいた。

7．本書の作成にあたっては、赤塚美智代、石原智恵子、伊藤禎樹、加藤とよ江、亀井けい子、河合明美、鈴木規子、長井富美男、林素子、坪井裕司、市川浩代、伊藤千春、伊藤隆彦、各氏の協力を得たほか、愛知県陶磁資料館、愛知県清洲貝殻山貝塚資料館をはじめとする関係各機関並びに、地元作業員の方々には過大の援助を賜わった。

8．文責は各文末に記した。

財団法人　愛知県埋蔵文化財センターの組織

（役　員）

理事長

中根　昭二

常務理事

中林　　茂

理　事

小金　　潔	県教育長
井関弘太郎	名古屋大学教授
伊藤　秋男	南山大学教授
大参　義一	信州大学教授
坪井　清足	㈶大阪文化財センター理事長
楢崎　彰一	名古屋大学教授
花木　蔦雄	都市教育長協議会会長（一宮市教育長）
大溪　紀雄	町村教育長協議会会長（吉良町教育長）
下田　修司	県土木部長
中神　秀雄	県教育委員会社会教育部長
林　　正治	清洲貝殻山貝塚資料館館長（清洲町長）
日下　英之	県陶磁資料館館長

監　事

石原　坂男	県出納事務局次長
龍野　　等	県教育委員会総務課長

専門委員

考古学	楢崎　彰一	名古屋大学教授
地理学	井関弘太郎	名古屋大学教授
文献史学	早川　庄八	名古屋大学教授
建築史学	浅野　　清	愛知工業大学教授
動・植物学	渡辺　　誠	名古屋大学助教授
形質人類学	池田　次郎	岡山理科大学教授
保存科学	江本　義理	前東京国立文化財研究所保存科学部長
岩石学	諏訪　兼位	名古屋大学教授
木材組織学	木方　洋二	名古屋大学教授

（職　員）

事務局長（兼管理課長）　太田　正男

調査課

課　長	明壁　正毅
課長補佐兼主査	鷲野　　勉
主　事	小澤　一弘
〃	石黒　立人
主　査	梅本　博志
主　事	宮腰　健司
〃	佐藤　公保
〃	水谷　朋和
嘱　託	松田　　訓
主　事	平田　睦美
嘱　託	飴谷　　一
主　査	細野　正俊
主　事	鈴木　正貴
嘱　託	中野　良法
課長補佐兼主査	山田　耕治
主　事	後藤　浩一
嘱　託	岡本　直久
主　事	北村　和宏
嘱　託	菅沼　良則
主　事	森　　勇一
〃	樋上　　昇
主　査	平野　　清
主　事	赤塚　次郎
〃	山仲　廣司
〃	松原　隆治
〃	神谷　友和
主　査	土屋　利男
主　事	池本　正明
〃	酒井　俊彦
嘱　託	野口　哲也

管理課

課長（事務局長兼）	太田　正男
主　査	青山　光一
主　事	鈴木　孝治
〃	田上　堅三
〃	大野　智靖
〃	小倉　晴美

目　次

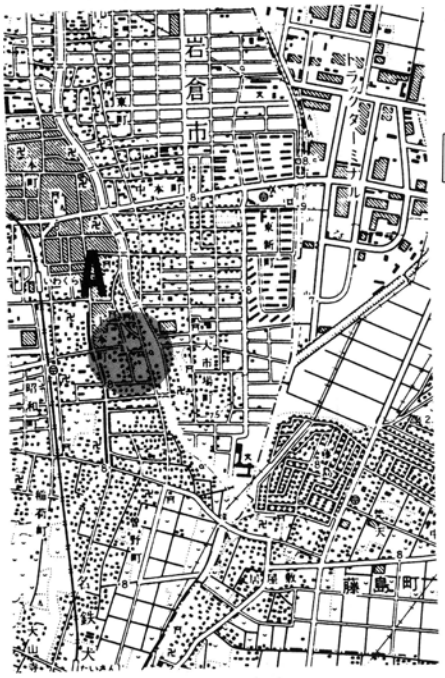
Ⅰ.遺跡調査の概要 …… 1
調査の工程 …… 2
遺跡の位置 …… 4
清洲城下町遺跡 …… 6
小田井遺跡 …… 20
朝日遺跡 …… 21
比良遺跡 …… 26
岩倉遺跡 …… 32
勝川遺跡 …… 34
町田遺跡 …… 54
松河戸遺跡 …… 60
志貴野遺跡 …… 66
岡島遺跡 …… 74
諏訪遺跡 …… 82
杉山遺跡 …… 88
試　掘 …… 90
Ⅱ.調査研究 …… 91
朝日遺跡貝層ブロック・サンプリングの調査報告 …… 渡辺　誠・田中禎子 …… 92
勝川遺跡及びその周辺地域から産した昆虫化石と古環境 …… 森　勇一 …… 117
伊勢湾地方から見た近江系土器 …… 石黒立人 …… 137
朝日遺跡の異形土器について …… 飴谷　一 …… 147
朝日遺跡出土の外来系土器について－2－ …… 宮腰健司 …… 156
清洲宿についての一考察 …… 中野良法 …… 163
Ⅲ.埋蔵文化財センターの活動 …… 169
埋蔵文化財展・埋蔵文化財講演会 …… 170
発掘調査技術等研修会 …… 171
資料の貸出・提供 …… 172
現地説明会 …… 173
Ⅳ.付篇(受贈図書目録) …… 174

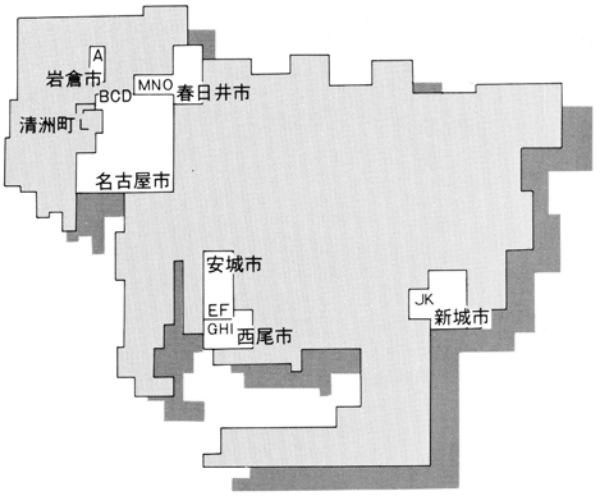
遺跡調査の概要

調査の目的と工程

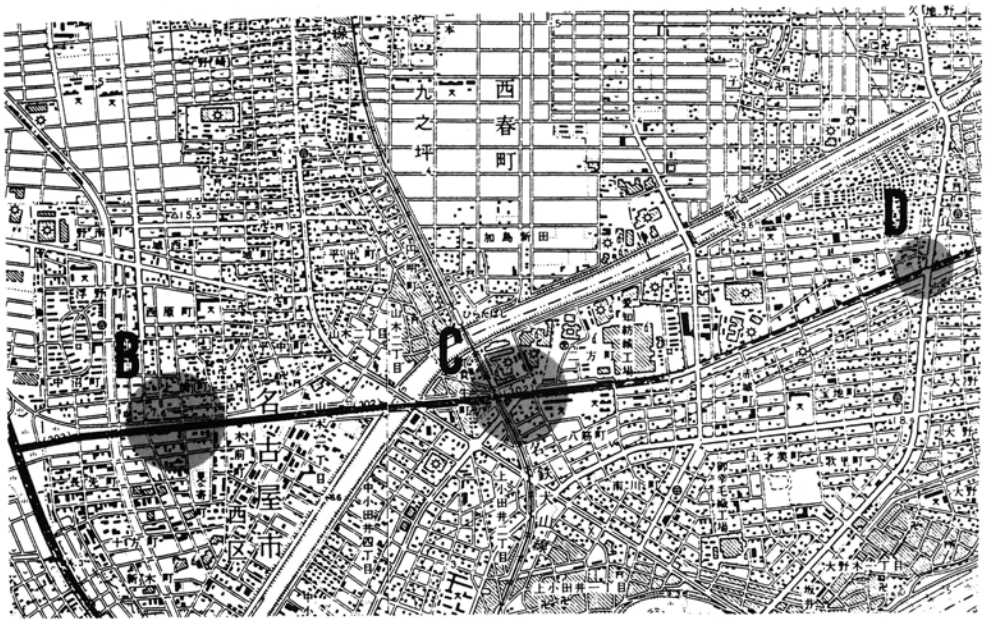
調査委託者	調査の目的	遺跡名		面積(㎡)	調査の期間	調査担当者
建設省 日本道路公団	名古屋環状2号線	松河戸遺跡	A	1729	87. 8～88. 1	山田・北村・後藤
			B	1620	87.12～88. 3	山田・北村・後藤
			C	1627	87. 8～88. 1	山田・北村・後藤
			D	1635	87.12～88. 3	山田・北村・後藤
			E	1598	87.10～88. 2	山仲・樋上
			F	1558	88. 2～88. 3	山仲・樋上
			G	1598	87.11～88. 2	平野・岡本
		(13,431㎡)	H	2066	87.11～88. 2	平田・松田
		町田遺跡	A	1544	87. 4～87. 7	山田・山仲・後藤・佐伯
			B	1427	87. 7～87.11	山仲・後藤・神谷
			C	1438	87. 4～87. 4	山田・山仲・後藤・佐伯
			D	1249	87. 7～87.11	山仲・後藤・神谷
			E	1138	87. 4～87. 7	山田・山仲・後藤・佐伯
			F	1106	87. 7～87.11	山仲・後藤・神谷
			G	970	87. 4～87. 7	山田・山仲・後藤・佐伯
		(9,882㎡)	H	1010	87. 7～87.11	山仲・後藤・神谷
		勝川遺跡	F	1090	87. 4～87. 9	森・樋上・丹羽
			G	1058	87. 4～87. 9	森・樋上・丹羽
			H	1092	87. 4～87. 9	森・樋上・丹羽
		(4,403㎡)	I	1163	87. 4～87. 9	森・樋上・丹羽
		朝日遺跡	A	1203	87. 6～87. 8	宮腰・平田・飴谷
			B	1690	87. 6～87. 9	梅本・小澤・佐藤
			C	304	87. 4～87. 7	小澤・水谷・松田
			D	250	87. 6～87. 8	小澤・水谷・松田
			E	308	87. 4～87. 7	小澤・水谷・松田
			F	178	87. 4～87. 7	小澤・水谷・松田
			G	343	87. 4～87. 7	小澤・水谷・松田
			H	448	87. 4～87. 7	小澤・水谷・松田
			I	387	87. 4～87. 7	梅本・宮腰
			J	323	87. 4～87. 7	梅本・宮腰
			K	403	87. 4～87. 7	梅本・宮腰
		(6,214㎡)	L	377	87. 4～87. 7	梅本・宮腰
		小田井遺跡	A	240	87. 4～87. 5	佐藤
			B	230	87. 4～87. 5	佐藤
			C	170	87. 9	宮腰
			D	320	87. 4～87. 5	平田・飴谷

調査委託者	調査の目的	遺跡名		面積(㎡)	調査の期間	調査担当者
			E	330	87. 4～87. 5	平田・飴谷
			F	305	87. 4～87. 5	平田・飴谷
		(1,688㎡)	G	93	87. 4～87. 5	平田・飴谷
		比良(月縄手)遺跡	A	96	87. 6～87. 8	水谷
			B	300	87. 6～87. 8	平田・松田
(36,264㎡)	(36,264㎡)	(646㎡)	C	250	87. 6～87. 8	平田・松田
建設省	国道23号線バイパス	志貴野遺跡	A	2200	87. 8～87. 9	土屋・池本
		(3,000㎡)	B	800	87.10～87.11	土屋・平田・池本
(3,750㎡)	(3,750㎡)	西山遺跡・藤井遺跡 小島遺跡	試掘	750	87. 4～87. 5	土屋・池本
愛知県土木部	県道新川・清洲線	清洲城下町遺跡	E	966	87.10～88. 1	細野・佐藤・鈴木・飴谷
			F	852	88. 1～88. 3	細野・佐藤・鈴木・飴谷
			H	535	87.11～88. 1	細野・佐藤・鈴木・飴谷
			I	802	87.10～87.12	細野・佐藤・鈴木・飴谷
			J	495	87. 4～87. 7	細野・鈴木・中野
			K	492	87. 4～87. 8	細野・鈴木・中野
	(4,800㎡)	(4,800㎡)	L	658	87. 4～87. 6	細野・鈴木・中野
	五条川改修	清洲城下町遺跡	A	130	87.11～87.12	細野・水谷・中野
			B	510	88. 1～88. 2	細野・水谷・中野
			C	690	87. 8～87.11	細野・水谷・中野
			D	990	88. 1～88. 3	細野・水谷・中野
			G	500	87.10～87.11	細野・鈴木
			M	230	87.10～87.11	細野・鈴木
	(3,200㎡)	(3,200㎡)	N	150	87.11～87.12	細野・水谷・中野
	土地区画整理	勝川遺跡	A	1251	87. 9～87.11	松原・赤塚
			B	716	87. 4～87. 5	松原・赤塚・神谷
			C	246	87. 9～87.11	松原・赤塚
	(2,813㎡)	(2,813㎡)	J	600	87. 5～87. 6	赤塚・丹羽
	県道萩原多気線	岩倉城遺跡	A	380	88. 1～88. 2	松原
	(760㎡)	(760㎡)	B	380	88. 2～88. 3	松原・平田
	新城バイパス	諏訪遺跡	A_3	375	87. 7～	土屋・池本
			A_4	525	87.12～88. 1	酒井
			B	2285	87. 9～87.11	酒井・野口
			C	2200	87. 6～87. 9	酒井・野口
		(6,000㎡)	X	615	87.12～88. 1	酒井
	(7,000㎡)	杉山遺跡		1000	87. 4～87. 5	酒井・野口
	県道蒲郡・碧南線	岡島遺跡	A	1400	88. 1～88. 3	土屋・池本・管沼・野口
			B	1700	87.11～88. 1	土屋・池本・管沼・野口
(4,800㎡)	(4,500㎡)	(4,500㎡)	C	1400	88. 1～88. 3	土屋・池本・管沼・野口

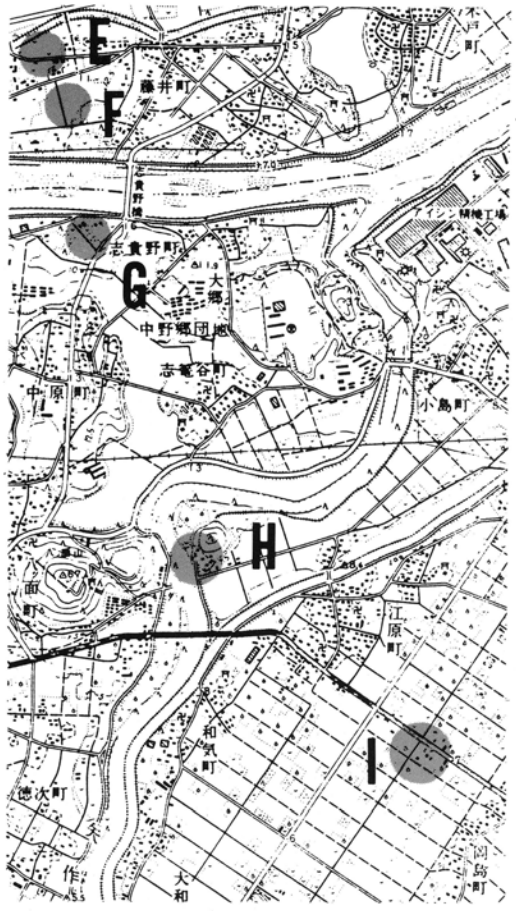




A 岩倉遺跡　B 朝日遺跡　C 小田井遺跡
D 比良遺跡　E 西山遺跡　F 藤井遺跡
G 志賀野遺跡　H 小島遺跡　I 岡島遺跡
J 杉山遺跡　K 諏訪遺跡　L 清洲城下町遺跡
M 勝川遺跡　N 町田遺跡　O 松河戸遺跡

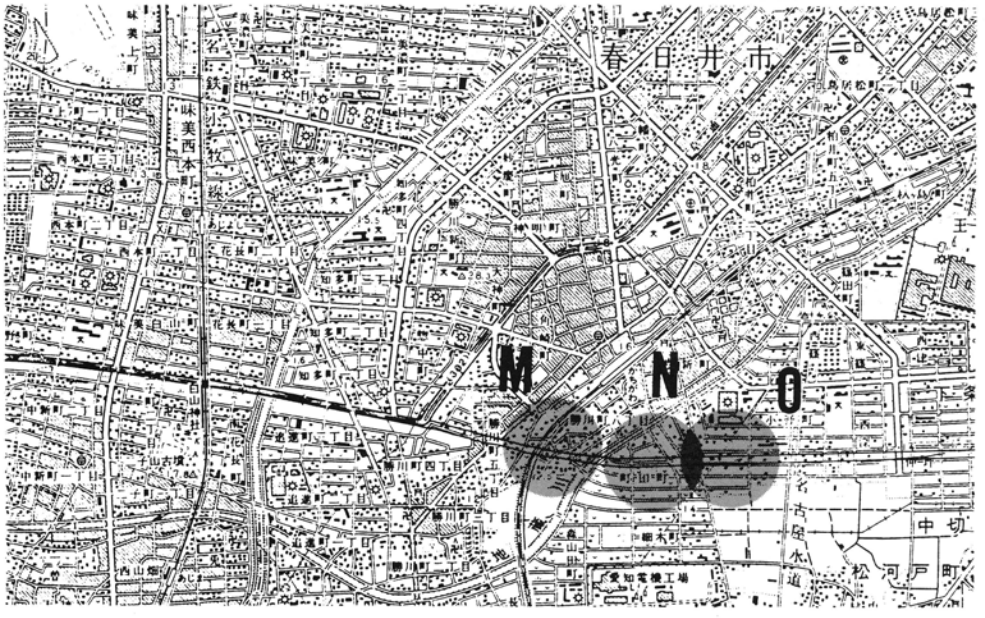


遺跡の位置


E
F
G
H
I
藤井町
志貴野町
大郷
中野郷団地
志貴谷町
中原町
小島町
江原町
和気町
徳次町
大和


新城市
豊栄
杉山
今出平
諏訪
J
K


野田町
朝伯
L
清洲


春日井市
峰美上町
峰美西本町
鉄小牧線
M
N
O
中切町
松河戸町
愛知電機工場